

様式（第3条関係）

東京都北区とうきょうすくわくプログラム推進事業活動報告書

所在地	東京都北区赤羽 3-23-7
園名	岩淵保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

季節ごとの自然に肌で触れよう！

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

園では戸外での活動を盛んに行っていて、常に自然が側にある環境のなかで保育をしています。0歳児クラスの子どもの発達は個人差が大きい為、みんなが同時に同じ経験をするのは難しいと思っていました。そこで月齢が近い子どものグループで、戸外へ出かけ、自然に触れる活動をたくさん経験しました。0歳児なりに戸外でしか感じる事ができない自然に肌で触れ、のびのびと活動することを目的としてテーマを設定しました。

2. 活動スケジュール

夏：泥遊び

秋：落ち葉遊び

冬：雪に触れる

春：花や虫に触れる

3. 活動のために準備した素材、道具及び環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材及び道具）

保育室に置いてある絵本は0歳児でも扱いやすい大きさの写真図鑑を取り入れてみました。泥遊び用のスコップやバケツ、などの砂場道具。図鑑の写真で見た物を探しにバギーで散歩に行くなど自然に対する興味が沸くように環境を整えました。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

泥遊び：雨上がりの園庭にできた水たまりを利用して遊ぶ。

落ち葉遊び：踏む、ちぎる、なげる等を通して音や感触を楽しむ。

雪遊び：雪が降っている様子を眺めたり、実際に触れたりしてみる。

花や虫：花の色に気づいたり、綿毛を飛ばしてみたりする。虫や生き物が動く姿をみて、図鑑の写真と同じだね、と共有する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

日常で良く目にしている物を使って遊ぶことで、抵抗なく遊びに入っていく事ができました。興味のまま遊び続ける為、じっくりと時間をかけて遊ぶことができました。また、保育者と一緒に写真図鑑を広げて「○○だね」と言葉でも伝えていたことで実際に見た時に子どもたちも嬉しそうに指差しや発語で知らせる姿がありました。落ち葉や花に触れる時には子ども達同士で見せ合ったり「どうぞ」と渡し合ったりする姿がありました。落ち葉遊びは手先が器用な児はちぎり、ダイナミックな遊びを好む児は投げたり、落ち葉の上に寝転がったりするなど、同じ自然物を使っても違う遊びが行えるように関わりました。また、写真図鑑があることで保育室に戻ってからも遊びの余韻を楽しむことができました。

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用してください。)



5. 振り返り

<振り返りによって得た職員の気づき>

自然のものを利用して遊んでいるので遊び方は様々で、同じ遊びでも個々の好みに合った遊び方を楽しむことができたと感じました。また、日常的に目にしているものの遊びは、保育士が予想していなかった子どもたちの姿を見ることができました。落ち葉遊びや花や虫探しに興味を持ったことを保護者に伝え、家庭でも実践してもらえ、休日に自然に触れられる場所へ出かけるきっかけとなったり、保育園での遊びの様子に興味をもってもらったりすることができました。写真の図鑑を取り入れた事では、「お散歩で見たね〜」「アリさんいたね〜」「おなじだね〜」などと共感することができ、発語のきっかけや対話の楽しさを経験することへ繋がったと思いました。